

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	クールシティ推進事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者	至長事務取扱 眞元 正人 室長 木村 英雄	
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	大気生活環境室 地下水・地盤環境室				
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壌等の保全 3-2 大気生活環境の保全				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	ヒートアイランド対策大綱 (ヒートアイランド対策関係省庁連絡会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・日本の都市はこの100年間で、東京(大手町)で約3℃、政令市・中核市では約2℃気温が上昇しており、温室効果ガスにより日本の平均気温が約1℃上昇していることを鑑みてもヒートアイランド現象の影響は大きく、その影響は熱中症増加の懸念など、国民一人ひとりの生活に密接に関わっている。一方で、短期的には気温の上昇を抑えることは困難であることから、ヒートアイランド現象による国民への影響を最小限にするための適応策の導入を検討する必要がある。</p> <p>・ヒートアイランド現象の要因の一つとして、人工排熱の増加があげられるが、東日本大震災後のヒートアイランド対策の実施に当たっては、都市における分散型電源の増加等、震災後のエネルギー需給の変化に合わせたヒートアイランド対策のあり方を検討することを目的としている。</p> <p>・ヒートアイランド現象の緩和効果が期待される地中熱利用のための技術の導入、普及拡大を図る。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>1. 地方公共団体による街路空間における人への熱ストレスを低減させる適応策の推進手法及び基礎調査や民間事業者による街路空間の人への熱ストレスを低減させる適応策の推進手法及び基礎調査を実施した。また、平成21年に作成された「ヒートアイランド対策ガイドライン」の改訂を行った。</p> <p>2. 実際の生活の場におけるWBGTと気象台におけるWBGTの違いを把握するため、オフィス街や住宅地等に観測機器を設置し、モニタリング(比較観測)を実施し、WBGTの推定手法を検討した。</p> <p>3. 気象庁情報を用いてWBGTの予報値を算出し、WBGTの実測値や熱中症患者数の速報値等と併せて、インターネットを通じて情報を提供した。平成23年度から情報提供地点を拡大し、全国約150地点における予報値、実況予測値の提供を行った。さらに、現状の熱中症予防情報サイト(WBGT情報提供)の現状調査・新機能追加に伴う要件整理及び将来想定される民間事業者の運用委託のための移行計画に向けての検討も実施した。</p> <p>4. エネルギー需給の変化に対応したヒートアイランド対策の推進を目的に、東日本震災後におけるヒートアイランド対策のあり方の検討を行った。</p> <p>5. 平成23年度に実施した環境情報データ収集解析事業で得られた地表面温度データに加え、詳細な気温観測及び人工排熱を推計し、その関係性から定量的なヒートアイランド対策目標を設定するとともに、重点的に対策を構すべき地域や地点、物件を抽出した。併せて、近隣自治体のヒートアイランド対策の実施状況を参考に、「ヒートアイランド対策指針(案)」を策定した。</p> <p>6. ヒートアイランド現象の緩和効果が期待されている地中熱利用の普及促進を図るために「導入コスト低減の可能性」「認知度向上」「地盤環境条件の整理」に関する検討を実施した。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	148	108	62	87	80	
	執行額	144	68	63				
	執行率(%)	97.3%	63.0%	101.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	成果実績として、「熱中症予防情報サイト」へのアクセス件数の増加が挙げられるが、目標値、及び目標達成年度を設定することは困難。なお、平成24年度のアクセス件数は7,703,564件。			件	3,558,074	5,771,017	7,703,564	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	「熱中症予防情報サイト」へのアクセス数			件	3,558,074 ( )	5,771,017 ( )	7,703,564 ( )	- ( )
単位当たりコスト	2(円/件)		算出根拠	単位当たりのコスト=熱中症予防情報サイトに係る予算(15,603,000円)/「熱中症予防情報サイト」へのアクセス数(7,703,564件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	80	76	人件費及び検討会開催回数等の見直しによる減。				
	環境保全調査等 地方公共団委託費	7	4					
	計	87	80					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	近年、猛暑を一因とする暑熱環境の悪化が問題となっており、その原因の削減、また、その影響削減については政府が対処すべき喫緊の課題となっている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価入札等を行うことにより競争性の確保や業務の適正化を実施した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	「ヒートアイランド対策ガイドライン 改訂版」の作成や公表等を行うことにより、対策の導入に係る情報提供を行い、対策の導入を促進した。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1. 有識者による検討会を開催し、検討会での助言を踏まえた上で、技術的検討を行った。また、検討会前には環境省担当官と十分な打合せを行った。地方公共団体や民間企業等が各種適応策を積極的・効率的に進める際に必要となるデータ・知見に焦点を絞り、全国においてより効率的・効果的に適応策を導入するための調査を実施した。今後、複数の適応策導入の効果を検証するため、モデル的に複数の適応策を実施し、その効果を検証する必要がある。					
	2. 3. 観測に不具合が発生した場合、請負者から速やかに報告と対応方法について連絡を受ける体制をとり、観測を実施した。予報値の提供期間中はホームページの更新状況を随時確認し、不具合が生じた場合は、至急対応する体制をとり、運用した。比較観測地点については、環境省担当者と請負者が現地調査し、十分な精査を行った上で決定した。今後はWBG7実測データの測定ポイントを大幅に増やすことが難しい中、推計の精度を高めることにより、更に充実した情報提供を実施することが必要。WBG7の予報データの提供は、昨年度のアクセス数等のデータからも必要性が高く、セキュリティ対策を中心に外部機関等を活用した情報提供のあり方についても検討しながら、継続的に実施する必要がある。					
	4. 5. 「ヒートアイランド対策指針(案)」作成にあたり、委託業務者が有識者による検討会を設置し、環境省担当官からも出席した。検討会前後では、十分な打合せを行った。ヒートアイランド対策については、政府としても引き続き推進する必要がある、とりわけ東日本大震災後の対応として、中長期的なエネルギー需給の変化に応じたヒートアイランド対策、熱中症対策を新たに講じる必要がある。昨年に引き続き、地方公共団体や民間企業等において、各種対策が積極的・効率的に進められるよう、より効率的・効果的に対策が導入されるための調査を進めていく。					
	6. 請負業務者が、有識者による検討会を設置し、環境省担当官からも出席した。検討会前後では、十分な打合せを行った。					
	<b>外部有識者の所見</b>					
	ヒートアイランド現象は極めて関心が高いテーマだが、結果がよくわからない。					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
事業内容の改善	エネルギー需給の変化に応じた都市の対策手法の検討については、短期的に検討し、結論を出すこととし、その他の事業については、引き続き効果的・効率的な執行に努めるとともに、成果を分かりやすく取りまとめること。					
	<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
縮減	人件費及び検討会開催回数等を見直すことにより、概算要求額を縮減。					
	<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
	平成22年	053, 054, 056	平成23年	040, 043, 044	平成24年	042, 043, 044

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省  
63百万円

- ・業務内容の決定
- ・業務実施者との契約

【随意契約】

注：業務発注時は、「良好な生活環境形成・保全推進費」(12百万円)とあわせて契約している。

A.(独)国立環境研究所 11百万円

- ・WBGT情報の公開及び精度検証
- ・WBGT情報の提供内容充実のための場所による差異とその要因の

【随意契約】

B.(一財)気象業務支援センター 2百万円

- ・WBGT予測値とWBGT実況予測値の算出業務

【総合評価入札】

C.(一財)気象業務支援センター 6百万円

- ・WBGTネットワークの構築及び実測
- ・WBGT実測値の提供内容の充実のための観測

【総合評価入札】

D(株)ニュージェック 4百万円

- ・温度算出及び対策効果をシミュレーションするシステムの開発

【総合評価入札】

E.一般社団法人環境情報科学センター 25百万円

- ・街路空間の熱環境と熱中症に関する調査
- ・適応策の効果的な導入場所の検討
- ・適応策の推進手法の検討
- ・ヒートアイランド対策ガイドラインの改訂
- ・エネルギー需給の変化による排熱状況の変化の把握

【随意契約】

F.(株)ハオ技術コンサルタント事務所 6百万円

- ・シミュレーション計算に係る入力データの作成
- ・表面温度及び放射環境等のシミュレーション計算の実施
- ・街区形態パラメーターと温熱環境の相関解析

【随意契約】

G.気象情報通信(株) 1百万円

- ・熱中症予防情報サイト機能拡充のための計画等検討

【随意契約】

H.気象情報通信(株) 1百万円

- ・熱中症予防情報サイト機能拡充のための更なる調査・モデル検

【随意契約・委託】

I.吹田市 7百万円

- ・報告書の取りまとめ

【一般競争入札】

J(株)パスコ 7百万円

- ・検討会の開催
- ・機器の設置、観測データのとりまとめ、シミュレーション計算

【総合評価入札】

K.(株)エックス都市研究所 8百万円

- ・地中熱利用の普及方策の構築検討

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A.(独)国立環境研究所			E.(一社)環境情報科学センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費等	熱中症予防情報サイトシステム等運用	9	雑役務費等	適応策調査検討業務	19
再委託費	(一財)気象業務支援センター	2	再委託費	(株)ハオ技術コンサルタント事務所	6
			印刷製本費		
	注:業務発注時は、「良好な生活環境形成・保全推進費」(12百万円)とあわせて契約している。				
計		11	計		25
B.(一財)気象業務支援センター			F.(株)ハオ技術コンサルタント事務所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	WBGT予測値等の算出業務	2			6
			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		
計		2	計		6
C.(一財)気象業務支援センター			I. 吹田市		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	黒球温度等観測業務	6	委託費	(株)パスコ	7
印刷製本費			印刷製本費		
計		6	計		7
D.(株)ニュージェック			J.(株)パスコ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		4			7
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。		
計		4	計		7

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目と  
 使途の双方で実  
 情が分かるよう  
 に記載)

K. (株)エックス都市研究所

費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	8			
計		8	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目と  
 使途の双方で実  
 情が分かるよう  
 に記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	平成24年度生活環境情報総合管理システムの整備業務	11	随意契約	-

B. C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)気象業務支援センター	平成24年度WBGT算出に係る黒球温度等観測業務	6	1	99.0
		WBGT予測値とWBGT実況予測値の算出業務	2	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニュージェック	平成24年度ヒートアイランド対策効果シミュレーション	4	4	97.6

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)環境情報科学センター	平成24年度ヒートアイランド現象に対する適応策及び震災後におけるヒートアイランド対策検討調査業務	25	1	98.0

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ハオ技術コンサルタント事務所	シミュレーション計算に係る入力データの作成、街区形態パラメーターと温熱環境の相関解析	6	随意契約	-

G. H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	気象情報通信(株)	平成24年度熱中症予防サイト(暑さ指数(WBGT)情報提供)の機能拡充のための計画等検討業務	1	少額随契	-
		平成24年度熱中症予防サイト(暑さ指数(WBGT)情報提供)の機能拡充のための更なる調査・モデル検討業務	1	少額随契	-

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	吹田市	平成24年度エネルギー需給の変化に応じた都市の対策手法検討事業委託業務	7	随意契約	-

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パスコ	平成24年度エネルギー需給の変化に応じた都市の対策手法検討事業委託業務	7	1	98.3

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	平成24年度地中熱利用の普及方策の構築検討業務	8	3	81.7